

# 福生三中だより

令和7年12月1日発行 No.7

## 學校教育目標

- 1 よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
- 2 ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
- 3 責任を果たし、みんなのために働く生徒
- 4 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒

校訓 礼節

## 「自分事」

校長 増木一仁

2学期も残りわずかとなりました。この11月、本校では生徒会を中心に、地域とつながる活動が数多く行われました。その中でも、生徒会主催のボランティア活動「落ち葉掃き清掃」には、全校生徒の半数近くが参加しました。また、地域の方々を講師に迎えて行った「地域の方々から学ぶ」では、参加した生徒全員が、講師の先生方へのお礼状を書きましたが、教えていただいたことへの感謝とともに、自分の生活や将来の目標と結びつけて考えることができました。

### 地域の方々に学ぶ14講座

- 「江戸の和算から学ぶ」「太陽系の歴史のつかみかた」「気象と防災の話」  
「大正琴を弾こう」「SAVE MY TOWN 消防団」「福生天王ばやしの演奏と習得」  
「環境にやさしいエネルギーとガス会社のお仕事」「保育園と保育士の仕事」  
「やってみよう太極拳」「俳句を楽しむ」  
「新しい自分をみつけよう！～ボランティア活動の5つのメリット～」  
「モルック」に挑戦！」「ジャズってなあに？」「フラダンスに挑戦！」

今年度も多くの皆様にお世話になりました。ありがとうございます。

最近、学校や社会でよく耳にする「自分事」という言葉は、物事を他人任せにせず、自分の問題として捉え、考え、行動する姿勢を意味します。

「落ち葉掃き清掃」のように自分の時間を使って地域のために働く姿は、まさに「自分事」として考え、行動する力の表れです。誰かに頼まれたからではなく、「自分にできることは何か」を考えて動く。この一歩が、学校をより良くし、地域との絆を深める大切な力になります。また、「地域の方々から学ぶ」で見られたように、単なる知識の習得にとどまらず、「自分事」として学びを深める姿勢は、これから社会で求められる力です。学んだことを自分の人生にどう活かすかを考えることは、主体的な学びの第一歩です。

これから社会では、課題を自分のこととして考え、仲間と協力しながら解決する力がますます求められます。小さなことでも「自分にできることは何か」を考え、行動する習慣を身につけさせていきたいと思います。それが、生徒たちが未来を切り拓く力になります。

寒さが厳しくなる季節ですが、健康に気をつけながら、次の目標に向けて一歩ずつ進めさせていきたいと思います。保護者・地域の皆様には、日頃より温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

(裏面割愛)